

気まぐれ

# ながの情報

号者幸 1 7  
 行 井 忠  
 3 8 9 - 1 1 0 3  
 長 野 県 長 野 市  
 豊 野 町 蟹 沢 1 1 7 9  
 TEL&FAX: 026-257-3461  
<http://www.janis.or.jp/users/chu798/>

## 雨にも負けず 初志貫徹！！



作業はお手のもの。「幾らでも掛かってきなさい！」

は 1 が 作 作 作  
日 日 業 業 業  
目 第 第 第 第 第

今回も皆さん気合いも入りまくりで、午前9時半頃には我が家に到着。何でも朝4時半には出発していたとか？私の方が段取り不十分で泡を食う始末。大変、失礼をいたしました(笑)。

年間を通して何度も農作業のお助け隊を派遣して下さる野菜の会(茅ヶ崎市)からこの度、4名のぶどう狩り&荷造りのお助け隊を派遣して頂きました。期間は9月11(月)から13日(水)にかけての2泊3日。前後の移動時間があるため、実質2日のハードスケジュールです。

この秋、荒井農園にぶどう狩り&荷造りのお助け隊として、野菜の会の関係者の方々4名が元気に駆けつけて下さいました。



箱打ち名人に  
なりました

で気温も丁度良く、外での収穫作業には適していました。今年は昨年と違って病気もほとんどないくらい美味しい美味い巨峰が収穫できましたので作業もとてもスムーズに進み、この日だけで同会向けの巨峰の箱詰め作業はごく一部のものを残しただけで、予定していたほぼ全量を出荷することが出来ました(何と！)って同会の注文数は我が家にとっ

## シアトルに行きま〜す！！

IPLA(インターナショナル・ピンクレディー・アライアンス)の総会に出席するため、10月15日(日)から19日(木)まで出かけてきます。これは、(企)日本ピンクレディー協会がIPLAに正式加入を承認してもらったことになっていく、という正しい表現ですが、(ま)らぞく留守になります。どうもよろしくお願いいたします。詳細は、次号でご紹介します。

ては半端な量ではありませんし、一度に送らないとあちろでは詰々々となる(冗談)ので、何とか一日で仕上げなくてはならないのです。そんなこんなで1日目の作業も無事終わり、皆さんには近隣の温泉で疲れを癒して頂きました。

さて、初日に加えて更に気合を入れていた4名でしたが、2日目は朝からあいにくの雨模様となつてしまいましたが、しかし、会の皆さんの期待と責任を背中をひしと感じておられるせいか、お天気が悪くたつて気にしません。それどころか益々、ヒートアップしていました。カッパを着込んでいざ、出発。ぶどうが良いので、雨といえども摘み取り速度も変わりません。1.5トントラックいっぱい積んだら次は荷

## 「お詫び」

造りです。

病気だらけだった昨年のぶ

今年梅雨明けが少く、伸びましたが、その後は高温乾燥の日々が続きました。春先に機械(水圧)でぶどうの枝の皮むきをしたことと、耕耘機でぶどう畑を起こしたことが功を奏してか、おかげさまで今年は病気の発生はほとんどなく、とても甘い巨峰が収穫できました。しかしながら、剪定の老齢化が悪化が重なり、輸送途中で房から粒が落ちてしまうものが多かったようです。誠に申し訳ございませんでした。来年以降、剪定の改善、木の更新等、対策を進めて参りますので、何とぞご容赦のほど、お願い申し上げます。

## topics

### 素敵なお便り 届きました

過日、お客様からとてもかわいらしいお便りを頂戴しました。「りんごが大好き」という感じが良く出ています。一枚です。



### 韓国から視察団ソクソク

昨年以來、韓国からの視察団を3回受け入れた。中には全ての視察に参加した人もいて驚いた。もちろん、仲良くなったことはいくらでもない。視察団の一番の関心事項は我が家のIPM(総合的病害虫・雑草管理)対策にあるようで、薬剤の散布回数、少ないに質問が集中することが多かった。他の農園と比較して、何故そんなことが可能なのか、不思議なのだろうか。こんな事を言うと怒られるかも知れないが、実際、私自身も不思議なのである。有機農業は、勇気農業である。と、かつて誰かが言っていたことを思い出せば、案外、誰もが可能なことなのかも知れない。

どうと比べれば、今年の荷造りは楽勝そのもの。皆さんには昨日同様、房の余分なツルと罹病してしまった粒を取り除く作業をして頂きました。2日目も約100箱強の箱詰めを終え、意気揚々と引き上げた皆さんでした。3日目は、時間の関係で荷造りは無理なので、摘み取りにのみ、力を集中して頂きました。さすがに3日目ともなると、こちらはもうバテバテです。が、皆さんはまだ、元気モリモリです。またしてもトラックいっぱい巨峰を積み、慌ただしく荷物をまとめ、まるで風のように颯爽と去って行かれました。こうして怒濤のごとき3日間が過ぎて行つたのでした。皆さん、お疲れ様でした。

### 「秋の収穫」

いわゆる「燃一段落した途端、えんき症候群」妙に落ち着かなというものや、一抹の寂しさを抱えた自分。今、また忙しなく、嬉々と、実生活に於いて、いる人間で、めまろしい日々を送っていたか、生き物である。